



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

### 動脈瘤の破裂が 引き起こす恐ろしい病気

「突然バットで殴られたような頭痛」。これがクモ膜下出血の症状です。

クモ膜下出血は極めて重大な病気で発症した患者さんの3分の1は死亡し、3分の1は重度の後遺症を残し、残りの3分の1が社会復帰できるといわれています。

このクモ膜下出血の原因の80%以上は脳動脈瘤の破裂です。つまり、脳動脈瘤を早く見つけて治療をすれば、クモ膜下出血を防ぐことができます。では、この脳動脈瘤はどのようにして見つけければ

良いでしょうか。

実はとても簡単です。頭部MRI検査で見つけることができます。MRIの機械の中で20分ほど寝ているだけでOKです。点滴もいりませんし、呼吸を止める必要もありません。

頭部MRIでは3ミリのうしろからの脳動脈瘤が見つかります。できている場所によって多少変わりますが、7ミリを超えると年に1%の確率で破裂します。つまり、クモ膜下出血が起こります。10ミリ以上では年率5%の破裂率です。

私は何の症状もないから大丈夫と思つてはいけません。脳動脈瘤のほとんどは破裂するまで症状は出ません。症状のないのが普通なのです。

**高齢者の病気とは言い切れない。こんな人は注意を**

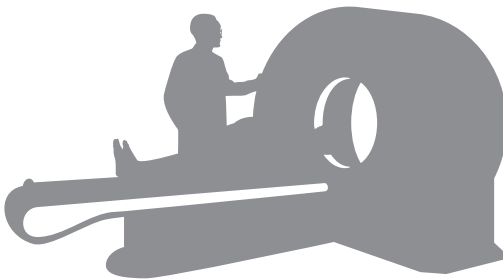
では、どのような人に行きやすいのでしょうか。高血圧、動脈硬化、喫煙者、多飲酒者に起こりやすいことが分かっています。また、遺伝的な要因もあることから、血縁にクモ膜下出血や脳動脈瘤

の人がいればさらに注意が必要です。

年齢では50歳を中心に40〜60歳代に好発し、女性性は男性の2倍の頻度です。必ずしも高齢者の病気ではありません。脳動脈瘤があることを知らずにいることは、時限爆弾を頭に入れておくようなものです。いつ爆発するか分かりません。しかし、早く見つければ手術（クリッピング術）や血管からのコイル塞栓術などで治療が可能です。小さいものであれば、血圧のコントロールで経過を見ることが可能です。

**MRI・脳ドックで簡単に確認。適切な治療を**

この病気は放っておけ



ば命に関わる重大な結果になります。簡単な検査で見つけて治療ができるため、検査を受ける価値が非常に高い疾患です。

「血縁に脳動脈瘤患者がいる」「高血圧がある」「動脈硬化がある」「たばこを吸っていた」「お酒をたくさん飲む」など、一つでもあてはまれば頭部MRIを受けましょう。日野病院では脳ドックで受けることができますし、通院患者さんは主治医と相談して検査をしてもらって下さい。

あなたの頭の中に時限爆弾があるかどうか、あればいつ爆発しそうかわかりません。適切に治療してもらって下さい。

